

卒業必修	保育士必修	幼稚園教諭必修	選択
授業科目名： 保育実習指導Ⅱ ナンバリング：2806	保育士資格取得のための 選択必修科目	単位数：1単位 （半期）演習	担当教員名： 加藤房江、塚越亜希子 担当形態：クラス分け
系列	保育実習		
教科目	保育実習指導Ⅱまたは保育実習指導Ⅲ		
授業の到達目標及びテーマ 1. 保育について総合的に学び、講義で学んだ内容や「保育実習Ⅰ（保育所）」の経験や既習の教科を踏まえ、保育の実践的な力や保育士の専門性、職業倫理について理解できる。 2. 保育の観察、記録、自己評価を踏まえた保育の改善について、実践や事例を通して理解できる。 3. 事後指導や自己評価・伝え合いを通して、保育に対する課題を明確にすることができる。			
授業の概要 本授業は保育について理解を深め、保育の実践的な力や保育士の専門性、職業倫理について遵守すべき内容について自覚し、子どもへの深い愛情と使命感を持って、将来の保育者としての活動に役立つような確かな知識・技能・保育技術の修得を深める。実習後は、自己の課題を明確化し、得られた知識や技術をまとめて発表することで、保育の現場に必要な力を身につける。			
授業計画 第1回：オリエンテーション、実習の自己評価 第2回：子どもの最善の利益を考慮した保育の具体的理解 第3回：子どもの保育と保護者支援 第4回：子どもの状態に応じた適切な関わり 第5回：保育の知識・技術を活かした保育実践 第6回：保育所実習に関するレポート作成 第7回：指導計画の作成① 第8回：指導計画の作成② 第9回：保育の全体計画に基づく具体的な計画と実践 第10回：保育の観察、記録、自己評価に基づく保育の改善 第11回：保育実践力の育成（指導要録等の記載方法について） 第12回：実習の総括と自己評価、課題の明確化 第13回：実習伝え合いのため資料作成 第14回：実習伝え合い 第15回：保育士の専門性と職業倫理 定期試験：レポート・制作物、課題等		授業時間外の学習 （各1～2時間程度） ・お礼状の作成を行う。 ・自己評価や課題の明確化を認識し、発表準備を行う。 ・子どもの前で演じるものの制作を通して、教材研究を行う。 ・就職先を意識した「月のおたより」の作成を行う。 ・就職先を意識した月案作成を行う。 ・保育者としての実践力を高めるための知識や技術を深める。 ・自己評価や課題をまとめ成果と技術の獲得を発表する。	
授業の方法 演習。各自の主体的な授業参加が求められる。ディスカッション等を取り入れ、学びを深化させる。提出物にチェックをし、返却してフィードバックする。			
テキスト 『実習の手引き』 埼玉純真短期大学			
参考書・参考資料等 ・実習日誌、適宜プリントを配布 ・『保育所保育指針』（最新版）『幼稚園教育要領』（最新版） 『幼保連携型認定こども園・教育保育要領』（最新版） 『マンガでわかる保育所保育指針』 浅井拓久也 著 中央法規			
学生に対する評価 ルーブリック評価・授業参画度(50%)、制作物・レポートや課題の内容 (50%)			
履修上の注意 <u>保育実習Ⅱ（保育所）も必ず履修すること。課題の提出等は、必ず期限を守ること。</u> 本科目は、保育所実習のための授業であり、原則欠席をしないこと。やむをえず欠席する場合は、必ず欠席届を提出する。後日欠席した授業のレポートも提出すること。保育所実習Ⅰを通して学んだことを常に念頭におき、積極的な態度で学習に臨むこと。			
実務経験の有無	有	実務経験	加藤：幼稚園教諭、元保育士、元主任保育士 塚越：幼稚園教諭
実務経験を活かした教育内容 保育者としての経験を活かし、実習で学んだことを基に保育者として必要な学びができるような授業を行う。			